

## 県内景況は僅かながら後退

## 目次

## 調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業、非製造業とも悪化	3
3. 売上	製造業は悪化、非製造業は横ばい	3
4. 受注	製造業、建設業とも悪化	4
5. 経常利益	製造業、非製造業とも悪化	4
6. 在庫	製品在庫、原材料在庫とも過剰感が減少	4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格・製造業、非製造業とも低下幅が拡大	5
8. 資金繰・借入金残高	借入金・全産業で減少に転じる	5
9. 雇用	製造業は不足感、非製造業は過剰感	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも減少	6
11. 経営上の問題点	「仕入れ価格の上昇」「売上・受注の減少」が増加	7

## 調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業242社、回答企業112社、回答率46.3%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成19年4～6月実績及び平成19年7～9月予想。
- 調査時点** 平成19年7月中旬～下旬。

### 業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	9	8.0	9	100.0
	織 維 ・ 縫 製	4	3.6	4	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	4	3.6	4	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	3	2.7	3	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	4.5	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	11	9.8	10	90.9
	電 気 機 械	12	10.7	11	91.7
	印 刷 ・ そ の 他	9	8.0	9	100.0
計		57	50.9	55	96.5
非 製 造 業	建 設 業	15	13.4	15	100.0
	卸 売 業	16	14.3	15	93.8
	小 売 業	15	13.4	11	73.3
	運 輸 業	4	3.6	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	4.5	4	80.0
計		55	49.1	49	89.1
全 部 門 合 計		112	100.0	104	92.9

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況.....県内景況は僅かながら後退

鳥取県企業動向調査によると、平成19年4～6月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、食品などが悪化したことから好転幅が縮小し、非製造業も建設業などが悪化したことから悪化幅が拡大し、全産業のBSIは4.5と前期比(2.0)2.5ポイント悪化した。

製造業は業種別にみると、紙・紙加工品や電気機械などは「好転」に転じたが、印刷・その他や木材・木製品などは「悪化」に転じ、食品や金属・機械などで好転幅が縮小し、全体でも好転幅が縮小した。

非製造業では小売業が「好転」に転じたが、建設業や卸売業で悪化幅が拡大し、運輸業などが「悪化」に転じたことから、全体でも悪化幅が拡大した。

先行きの景況感は、19年7～9月は、非製造業が悪化幅が僅かながら縮小するものの、製造業は好転幅が縮小し、全体でも僅かながら悪化する予想となっている。

## 1. 業種別の景況

製造業の景況感は、好転幅が縮小した(+5.5+3.5)。

非製造業の景況感は、前期比4.0ポイント悪化し、41四半期連続でマイナスとなった。(8.5 12.5)

## 2. 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業が増加幅は縮小し、非製造業は同水準であったことから、前回調査より悪

化した。(±0.0 2.0)

## 3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業で増加幅が縮小し、建設業は減少幅が拡大したことから、減少幅が拡大し、41四半期連続で減少となった。(1.5 3.5)

## 4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業で減少幅が僅かながら拡大し、非製造業の減少幅も大幅に拡大したことから、減少幅が拡大した。(6.0 10.5)

## 5. 販売価格、仕入価格の景況

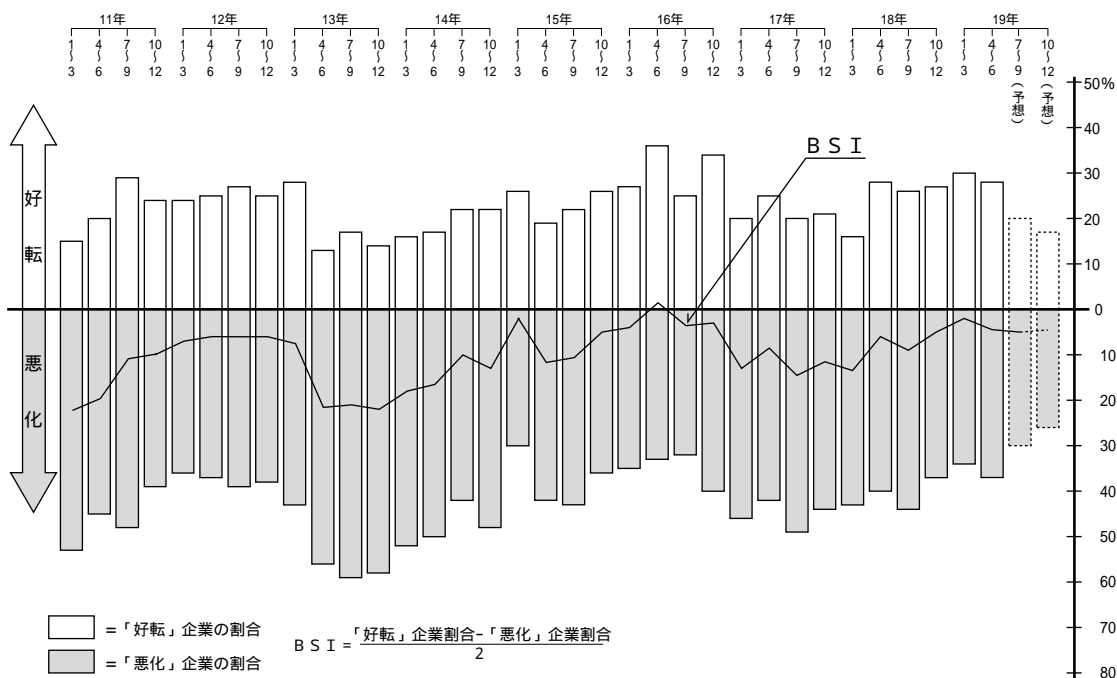
販売価格のBSIは、製造業で低下幅が拡大し、非製造業も拡大したことから、前回調査より低下幅が僅かながら拡大した。(4.5 6.0)

仕入価格のBSIは、製造業で上昇幅が拡大したが、非製造業は上昇幅が縮小し、全産業では僅かながら上昇幅が縮小したが、18四半期連続の上昇となった。( +21.0 +20.5)

## 6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の45%、「仕入価格の上昇」が35%、「先行き見通し難」が24%、「過当競争」が22%、「販売価格の低下」が19%となった。「仕入価格の上昇」が前回調査より6ポイント上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断.....製造業、非製造業とも悪化

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」は、19年4～6月は4.5で、1～3月の2.0より2.5ポイント悪化したが、前回(19年4月)調査の先行き予想の8.0からは3.5ポイント改善した。

今後の予想のBSIは、19年7～9月は5.0、10～12月も4.5とほぼ同水準で推移する予想である。

製造業の業況判断のBSIは19年1～3月の+5.5から4～6月は、食料品や金属・機械などで好転幅が縮小し、+3.5と2.0ポイント悪化した。

先行き7～9月は金属・機械や食料品で好転幅が縮小することなどから+1.0と悪化し、10～12月も±0.0と引き続き僅かながら悪化する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成19年1～3月の8.5から4～6月は建設業や卸売業などで悪化したことから、12.5と4.0ポイント悪化幅が拡大した。

先行き7～9月は、運輸業や建設業で悪化幅が縮小することから、11.0と僅かながら悪化幅が縮小する予想である。10～12月は卸売業や小売業などで悪化幅が縮小することから、9.0と僅かながら改善する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

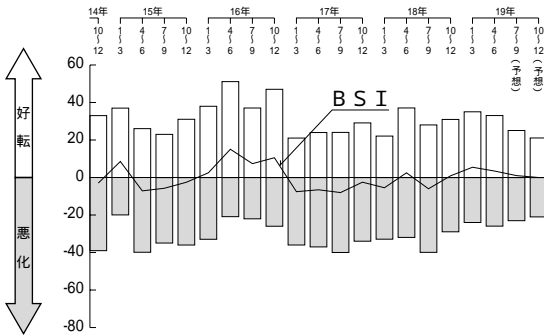
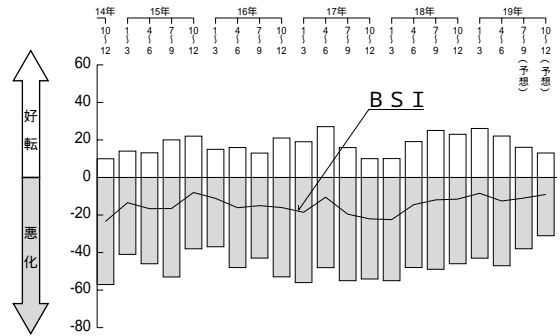


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



## 3 売上.....製造業は悪化、非製造業は横ばい

製造業は増加幅が縮小し、非製造業は同水準で推移した。

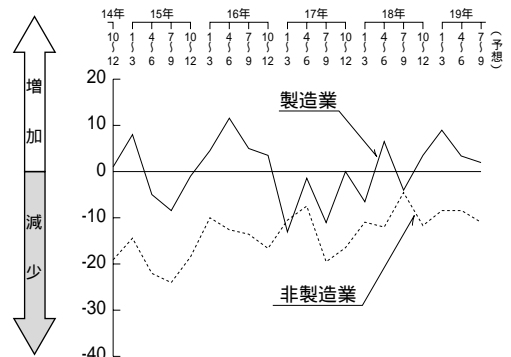
製造業は紙・紙加工品や電気機械で増加幅が拡大したが、金属・機械で増加幅が縮小し、食料品や印刷・その他などが減少に転じたことから、平成19年4～6月のBSIは、1～3月の+9.0から5.5ポイント悪化し+3.5と増加幅が縮小した。7～9月は金属・機械や電気機械などが悪化することなどから+2.0と引き続き増加幅が僅かながら縮小する予想である。

非製造業は卸売業が増加に転じ、小売業で減少幅が縮小したが、旅館・ホテルと運輸業が減少に転じ、建設業の減少幅が拡大したことから、19年4～6月のBSIは、1～3月の8.5と同水準となった。7～9月は小売業や卸売業が減少に転じ、旅館・ホテルも減少幅が拡大することから11.0と減少幅が拡大する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった52社の加重平均)では、19年4～6月の実績は製造業が増加したものの、非製造業は減少し前年同期比1.1%減少した。7～9月の予想も、製造業が引き続き増加するものの、非製造業は減少することから同1.9%減少する予想となっている。

産業別にみると、製造業(28社)は19年4～6月の実績は電気機械や金属・機械が増加したことから、同3.2%増加した。7～9月の予想もほぼ同様に同3.4%増加する予想である。非製造業(24社)は、19年4～6月の実績が同2.7%減少し、7～9月の予想も同3.8%減と減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



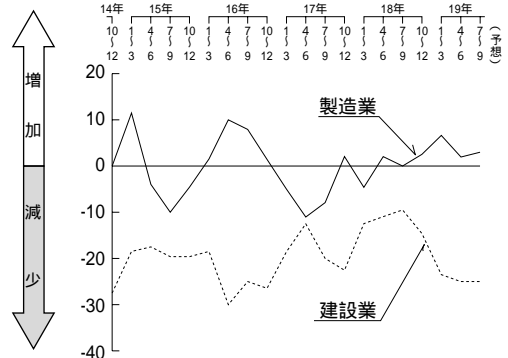
## 4 受注.....製造業、建設業とも悪化

製造業は増加幅が縮小し、建設業は減少幅が拡大した。

製造業は金属・機械や電気機械が増加したが、食料品や印刷・その他などが減少に転じ、19年4～6月の受注高BSIは2.0と悪化した。7～9月は、食料品や木材・木製品で減少幅が縮小することなどから、BSIは+3.0と増加幅が僅かながら拡大する予想である。

建設業の受注高BSIは、19年1～3月の23.5から4～6月は25.0と3四半期連続で減少幅が拡大した。7～9月は25.0と同水準で推移する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



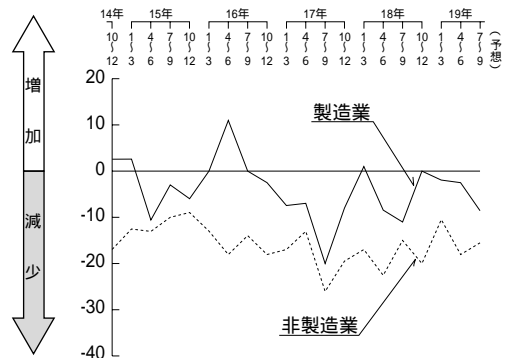
## 5 経常利益.....製造業、非製造業とも悪化

減少幅は製造業、非製造業とも拡大した。

製造業は、電気機械で減少幅が縮小し、食料品などで増加幅が拡大したが、印刷・その他や窯業・土石が悪化し、BSIは19年1～3月の2.0から4～6月は2.5と減少幅が僅かながら拡大した。7～9月は金属機械や電気機械、食料品などが悪化し、8.5と減少幅が拡大する予想である。

非製造業は、小売業が増加に転じたが、卸売業や建設業などで減少幅が拡大し、19年4～6月のBSIは18.0と1～3月より7.5ポイント悪化した。7～9月は建設業や卸売業などで減少幅が縮小することから、15.5と僅かながら改善する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



## 6 在庫.....製品在庫、原材料在庫とも過剰感が減少

製品在庫は過剰感が減少したが、商品在庫の過剰感は横ばいだった。

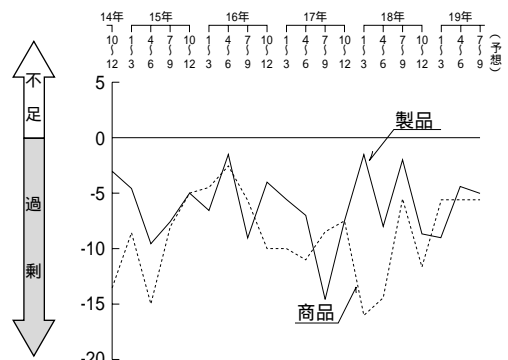
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は繊維・縫製や木材・木製品で過剰感が増加したが、食料品や電気機械などで過剰感が減少したことなどから、BSIは19年1～3月の9.0から4～6月は4.5と過剰感が減少した。7～9月は電機・機械や印刷・その他などで過剰感が増加することなどから、BSIは5.0と過剰感が僅かながら増加する予想である。

商品在庫のBSIは、小売業で過剰感が増加したが、卸売業は過剰感が減少し、全体では19年4～6月は1～3月の5.5と同水準になった。7～9月も4～6月と同様となる予想となっている。

製造業の原材料在庫は、印刷・その他で過剰感が増加したが、窯業・土石や電気機械などで過剰感が減少し、19年1～3月の4.5から4～6月は1.0と過剰感が減少した。7～9月は、印刷・その他で

過剰感が減少し、繊維・縫製が不足感に転じることから、BSIは+1.0と不足感に転じる予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



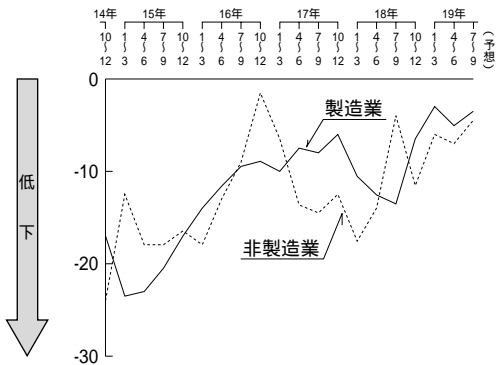
## 7 販売価格・仕入価格.....販売価格・製造業、非製造業とも低下幅が拡大

販売価格は製造業、非製造業とも低下幅が拡大。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、金属・機械で上昇幅が縮小し、食料品や木材・木製品などで低下幅が拡大したことなどから、19年1～3月の3.0から4～6月は5.0と低下幅が拡大した。7～9月は金属・機械で上昇幅が拡大し、木材・木製品で低下幅が縮小することから、BSIは3.5と低下幅が縮小する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業などで低下幅が縮小したが、卸売業は低下に転じることから、19年4～6月のBSIは7.0と低下幅が拡大した。7～9月は卸売業で低下幅が縮小することなどから、BSIは4.5と減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

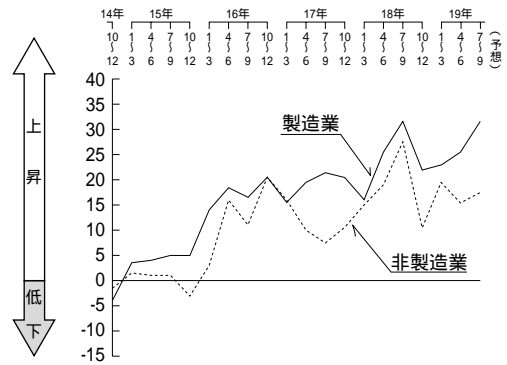


仕入価格は製造業で上昇幅が拡大、非製造業は縮小。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は紙・紙加工品などで上昇幅が縮小したが、金属・機械や電気機械などで上昇幅が拡大し、19年1～3月の23.0から4～6月は25.5と上昇幅が僅かながら拡大した。7～9月は、金属・機械や印刷・その他などで上昇幅が引き続き拡大することから、BSIは31.5と上昇幅が拡大する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは、建設業や運輸業などで上昇幅が縮小したことから、BSIは1～3月の19.5から4～6月は15.5と上昇幅が縮小した。7～9月は小売業などで上昇幅が拡大することなどから、17.5と上昇幅が拡大する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



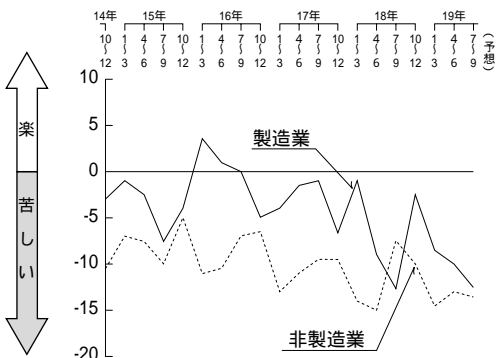
## 8 資金繰・借入金残高.....借入金・全産業で減少に転じる

資金繰りは製造業で悪化した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は繊維・縫製や電気機械が悪化したことなどから、19年1～3月の8.5から4～6月は10.0と悪化した。7～9月は印刷・その他などが悪化することから12.5と引き続き悪化する予想である。

非製造業のBSIは、1～3月は卸売業が改善したことから13.0と1～3月の14.5から僅かながら改善した。7～9月は13.5と僅かながら悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

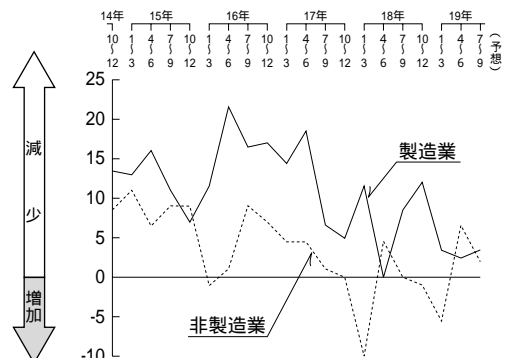


借入金残高は製造業で減少幅が縮小し、非製造業は減少に転じた。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は繊維・縫製や金属・機械で増加に転じたことなどから、19年1～3月の3.5から4～6月は2.5と減少幅が僅かながら縮小した。7～9月は3.5と減少幅が僅かながら拡大する予想である。

非製造業の4～6月のBSIは、1～3月の5.5から6.5と減少に転じた。7～9月は2.0と減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



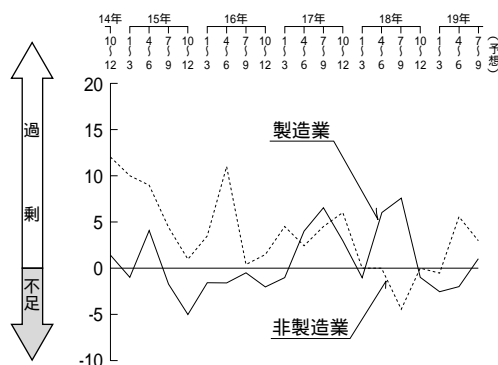
## 9 雇 用..... 製造業は不足感、非製造業は過剰感

常用雇用者 B S I は、製造業は不足感が減少し、非製造業は過剰感に転じた。先行きは製造業が過剰感に転じ、非製造業は僅かながら過剰感が減少する予想となっている。

製造業の19年4～6月の常用雇用者 B S I 「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、金属・機械で不足感が増加したが、食料品や印刷・その他などで不足感が減少したことなどから1～3月の 2.5から 2.0と不足感が僅かながら減少した。7～9月は1.0と過剰感に転じる予想である。

非製造業の B S I は1～3月の 0.5から、建設業が過剰感に転じ、小売業で不足感が減少したことなどから5.5と過剰感に転じた。7～9月は3.0と過剰感が僅かながら減少する予想となった。

図 - 12 雇用 (常用雇用者) の B S I



## 10 設備投資..... 製造業、非製造業とも減少

19年4～6月に設備投資をした企業は回答企業の25%で、前年同期実績(36%)を11ポイント下回った。7～9月の設備投資計画は27%で前年同期実績(34%)を7ポイント下回る計画となっている。

製造業の19年4～6月の設備投資の実施割合は33%と前年同期実績(40%)より7ポイント下回り、木材・木製品や金属・機械などが大幅に低下した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が70%、「増産・能力増強」が40%、「合理化・省力化」が25%、「研究開発」・「新製品の生産」がともに20%だった。7～9月の実施計画は33%と前年同期実績(43%)より10ポイント下回る計画となっている。

非製造業の4～6月の実施割合は17%と前年同期実績(32%)を15ポイント下回った。卸売業や建設業などが低下した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が88%、「販売力の増強」「合理化・省力化」がともに25%だった。

7～9月の実施計画は20%と前年同期実績(25%)を5ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績: 単位%

	19年1～3月 実	19年4～6月 績	19年7～9月 績 計	画
全 産 業	32(38)	25(36)	27(34)	
食 料 品	40(50)	44(33)	33(29)	
織 維 ・ 縫 製	0(0)	0(0)	0(0)	
木 材 ・ 木 製 品	0(0)	0(33)	0(25)	
紙 ・ 紙 加 工 品	33(20)	33(25)	33(50)	
窯 業 ・ 土 石	0(0)	0(20)	20(0)	
金 属 ・ 機 械	55(83)	45(70)	45(82)	
電 気 機 械	79(71)	58(46)	58(50)	
印 刷 ・ そ の 他	44(29)	22(22)	22(40)	
製 造 業	46(48)	33(40)	33(43)	
建 設 業	6(7)	7(22)	7(19)	
卸 売 業	12(12)	7(24)	7(12)	
小 売 業	33(88)	40(50)	47(46)	
運 輸 業	75(50)	25(40)	50(40)	
旅 館 ・ ホ テ ル	20(20)	0(40)	0(25)	
非 製 造 業	20(27)	17(32)	20(25)	

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

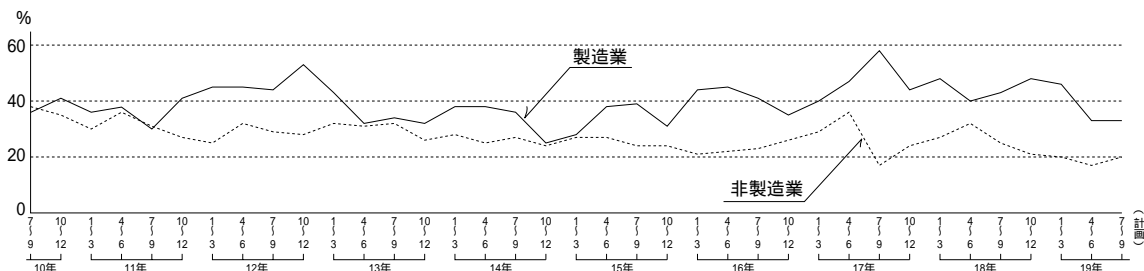
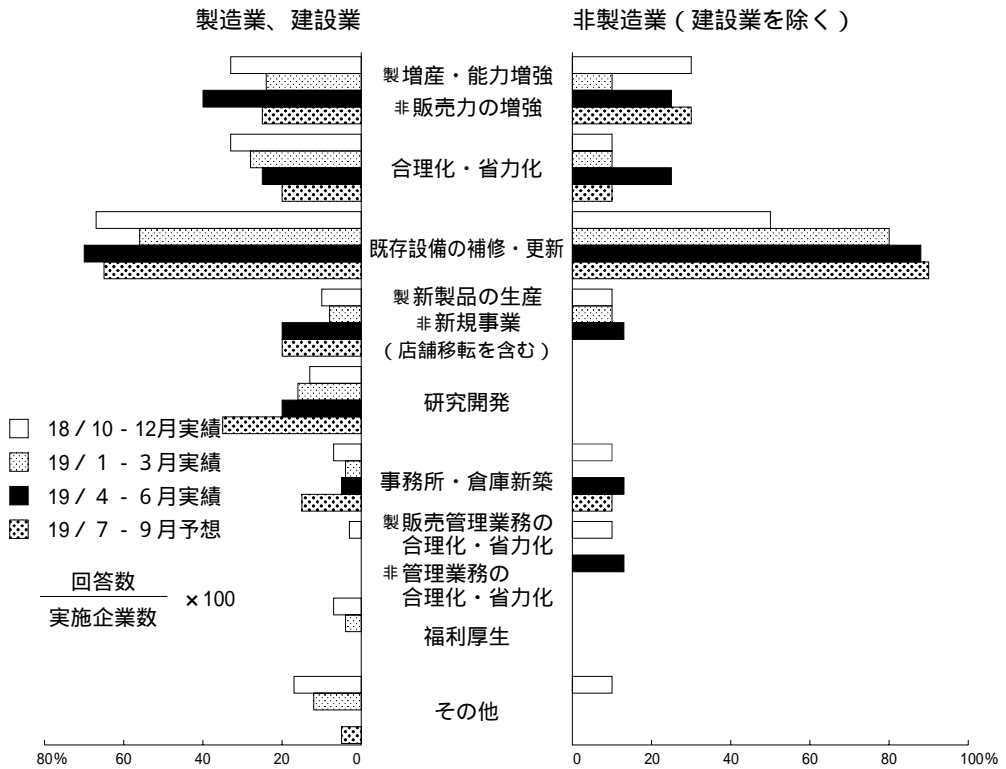


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



## 11 経営上の問題点……「仕入れ価格の上昇」「売上・受注の減少」が増加

19年4～6月実績の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」45%（19年4月調査42%）、「仕入れ価格の上昇」35%（同29%）、「先行き見通し難」24%（同25%）、「過当競争」22%（同22%）が上位項目だった。

7～9月は「先行き見通し難」や「仕入れ価格の上昇」などが増加する予想となっている。

**製造業**の上位項目は「仕入れ価格の上昇」46%（19年4月調査35%）、「売上・受注の減少」37%（同29%）、「先行き見通し難」25%（同24%）、「販売価格の低下」18%（同20%）、「諸経費の増加」18%（同18%）の順だった。7～9月は、原油価格を始めとした原材料価格の高止まりの影響から引き続き「仕入れ価格の上昇」が増加する予想となっている。

**非製造業**の上位項目は「売上・受注の減少」53%（19年4月調査53%）、「過当競争」31%（同28%）、「先行き見通し難」24%（同26%）、「仕入れ価格の上昇」24%（同24%）、「販売価格の低下」20%（同19%）の順だった。7～9月は「先行き見通し難」や「販売価格の低下」などが増加する予想となっている。

全国的な景気回復のなか、鳥取県内の景気回復の

遅れから、今後の景気動向に対する不透明感が窺われる結果となっている。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

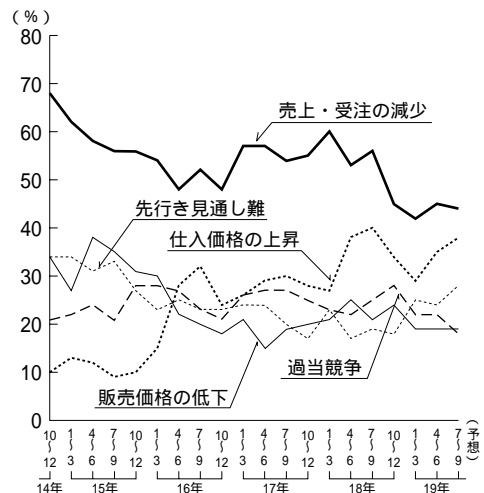




表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	19年1～3月実績				19年4～6月実績				19年7～9月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		30	36	34	2.0	28	35	37	4.5	20	50	30	5.0
食料品		60	40	0	30.0	33	56	11	11.0	11	78	11	0.0
繊維・縫製		33	34	33	0.0	50	50	0	25.0	25	50	25	0.0
木材・木製品		25	50	25	0.0	0	25	75	37.5	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		0	67	33	16.5	33	67	0	16.5	0	100	0	0.0
窯業・土石		25	50	25	0.0	0	40	60	30.0	20	40	40	10.0
金属・機械		62	30	8	27.0	55	36	9	23.0	36	55	9	13.5
電気機械		7	50	43	18.0	50	8	42	4.0	42	16	42	0.0
印刷・その他		44	34	22	11.0	11	67	22	5.5	22	67	11	5.5
製造業		35	41	24	5.5	33	41	26	3.5	25	52	23	1.0
建設業		11	36	53	21.0	0	33	67	33.5	20	33	47	13.5
卸売業		33	23	44	5.5	31	19	50	9.5	19	43	38	9.5
小売業		25	33	42	8.5	33	47	20	6.5	13	54	33	10.0
運輸業		50	25	25	12.5	0	50	50	25.0	25	50	25	0.0
旅館・ホテル		40	40	20	10.0	40	0	60	10.0	0	60	40	20.0
非製造業		26	31	43	8.5	22	31	47	12.5	16	46	38	11.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	19年1～3月実績				19年4～6月実績				19年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		34	32	34	0.0	34	28	38	2.0	27	37	36	4.5
食料品		40	60	0	20.0	33	23	44	5.5	11	56	33	11.0
繊維・縫製		33	34	33	0.0	50	50	0	25.0	25	50	25	0.0
木材・木製品		25	50	25	0.0	0	25	75	37.5	25	25	50	12.5
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
窯業・土石		50	0	50	0.0	20	20	60	20.0	40	20	40	0.0
金属・機械		77	8	15	31.0	54	37	9	22.5	27	64	9	9.0
電気機械		29	42	29	0.0	58	9	33	12.5	50	17	33	8.5
印刷・その他		33	34	33	0.0	22	45	33	5.5	27	64	9	9.0
製造業		42	34	24	9.0	39	29	32	3.5	32	40	28	2.0
建設業		11	36	53	21.0	7	40	53	23.0	29	14	57	14.0
卸売業		39	16	45	3.0	50	12	38	6.0	19	43	38	9.5
小売業		17	41	42	12.5	33	34	33	0.0	27	33	40	6.5
運輸業		50	25	25	12.5	0	25	75	37.5	25	25	50	12.5
旅館・ホテル		40	40	20	10.0	40	0	60	10.0	0	60	40	20.0
非製造業		26	31	43	8.5	29	25	46	8.5	22	34	44	11.0

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	19年1～3月実績				19年4～6月実績				19年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		27	34	39	6.0	22	35	43	10.5	16	44	40	12.0
食料品		40	20	40	0.0	33	45	22	5.5	22	45	33	5.5
繊維・縫製		33	34	33	0.0	25	50	25	0.0	25	50	25	0.0
木材・木製品		50	25	25	12.5	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		33	67	0	16.5	67	33	0	33.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		25	25	50	12.5	0	20	80	40.0	20	20	60	20.0
金属・機械		46	31	23	11.5	46	36	18	14.0	27	55	18	4.5
電気機械		7	43	50	21.5	33	34	33	0.0	17	41	42	12.5
印刷・その他		33	34	33	0.0	12	44	44	16.0	11	56	33	11.0
製造業		31	34	35	2.0	30	35	35	2.5	18	47	35	8.5
建設業		5	42	53	24.0	0	20	80	40.0	13	20	67	27.0
卸売業		28	28	44	8.0	12	32	56	22.0	13	43	44	15.5
小売業		33	34	33	0.0	33	54	13	10.0	20	60	20	0.0
運輸業		75	0	25	25.0	0	50	50	25.0	25	25	50	12.5
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	20	20	60	20.0	0	40	60	30.0
非製造業		22	35	43	10.5	15	34	51	18.0	15	39	46	15.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	19年1～3月実績				19年4～6月実績				19年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		15	61	24	4.5	13	62	25	6.0	16	60	24	4.0
食料品		0	100	0	0.0	0	78	22	11.0	0	78	22	11.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
木材・木製品		25	50	25	0.0	0	75	25	12.5	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		67	33	0	33.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	100	0	0.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
金属・機械		23	69	8	7.5	18	73	9	4.5	36	46	18	9.0
電気機械		8	53	39	15.5	18	37	45	13.5	18	36	46	14.0
印刷・その他		0	67	33	16.5	11	67	22	5.5	11	67	22	5.5
製造業		13	68	19	3.0	11	68	21	5.0	16	61	23	3.5
建設業		0	46	54	27.0	15	39	46	15.5	8	46	46	19.0
卸売業		44	28	28	8.0	27	33	40	6.5	31	38	31	0.0
小売業		8	84	8	0.0	13	74	13	0.0	13	80	7	3.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
非製造業		17	54	29	6.0	15	56	29	7.0	15	61	24	4.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	19年1～3月実績				19年4～6月実績				19年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		48	46	6	21.0	47	47	6	20.5	56	38	6	25.0
食料品		80	20	0	40.0	78	11	11	33.5	78	11	11	33.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
木材・木製品		75	25	0	37.5	50	50	0	25.0	100	0	0	50.0
紙・紙加工品		67	33	0	33.5	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
窯業・土石		50	50	0	25.0	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
金属・機械		54	46	0	27.0	73	27	0	36.5	82	18	0	41.0
電気機械		31	69	0	15.5	50	50	0	25.0	58	42	0	29.0
印刷・その他		33	67	0	16.5	44	56	0	22.0	78	22	0	39.0
製造業		46	54	0	23.0	53	45	2	25.5	65	33	2	31.5
建設業		57	29	14	21.5	54	23	23	15.5	54	23	23	15.5
卸売業		72	11	17	27.5	63	24	13	25.0	69	25	6	31.5
小売業		9	82	9	0.0	13	80	7	3.0	20	73	7	6.5
運輸業		100	0	0	50.0	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
旅館・ホテル		0	100	0	0.0	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
非製造業		50	39	11	19.5	42	47	11	15.5	45	45	10	17.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	14年				15年				16年				17年				18年				19年		
																						予想		
製 造 業	1 仕入価格の上昇	4	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	49
	2 売上・受注の減少	73	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37
	3 先行き見通し難	44	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	25
	4 販売価格の低下	25	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	16
	5 諸経費の増加	2	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	16
	6 過当競争	15	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	9
	7 人件費の増加	4	5	4	5	7	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	5	7	2	11	9
	8 資金繰り難	4	3	7	5	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	9
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	66	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	51
	2 過当競争	29	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	27
	3 仕入価格の上昇	7	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	25
	4 先行き見通し難	22	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	31
	5 販売価格の低下	40	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22
	6 諸経費の増加	3	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	7
	7 資金繰り難	14	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	7
	8 人件費の増加	2	2	0	5	4	5	4	6	3	4	3	1	0	3	2	7	2	5	2	2	0	7	4

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

お客様の事業資金をバックアップ!!

とろぎん

活 力

シリーズ

かつりよく

## 中小事業者向け融資

3つのラインナップから貴社に最適な商品をお選びいただけます。

短期運転資金

地域振興ファンド  
活力

- 1 利率 年**1.5%**～
- 2 原則 **無担保・第三者保証人不要**
- 3 **保証料不要**

長期運転資金

活力Ⅱ

信用保証協会保証付

- 1 ゆとりの**5年返済**
- 2 **無担保・第三者保証人不要**
- 3 **原則翌営業日回答**

長期運転資金

活力Ⅲ

オリックス(株)保証付

- 1 **3,000万円までの融資幅**
- 2 **無担保・第三者保証人不要**
- 3 ゆとりの**5年返済**

お問合せは  
とろぎんダイレクトセンター

ハロー らくにいこう  
**0120-86-6915**

平日(銀行休業日を除く)  
9:00～19:00

TOTTORI BANK  青い鳥の銀行です。  
**鳥取銀行**  
<http://www.tottoribank.co.jp>

平成9年8月5日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

  
TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220